

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		農道整備事業						予算事業名		農道整備事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				06	01	08	2001	経常経費							
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業					
		特色ある農業の振興と活性化													
		農村環境の保全						担当課係等		農政課 農地整備係					
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
舗装整備を行うことで荷傷みを軽減し、農産物の品質低下を防ぐとともに、農村地域における生活環境の改善を図る。								農業生産基盤施設としての農道の整備を行い、農村地域の生活環境の改善を図るため。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
畑地や水田地帯の未舗装道路を舗装整備する。								畑地や水田地帯の未舗装の市道 農道周辺の農業従事者							
								【事業をとりまく環境の変化】 農道舗装整備に関する要望は例年増加傾向にあり、対応しきれていない状況にあるが、緊急性や利便性を精査し、年次計画において対応している。 また、近年の人件費及び材料費の高騰により設計工事費が高くなっており、計画延長が短くなる傾向にある。							
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】							
調査・境界確認・設計・整備				調査・境界確認・設計・整備				調査・境界確認・設計・整備							
■事業費															
				R05年度		R06年度									
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	17,930	9,374								
歳入計 (千 円)				17,930		9,374									
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)				金額 (千 円)		金額 (千 円)								
	14 工事請負費				17,930		9,374								
歳出計 (千 円) (A)				17,930		9,374									
伸び率 (%)						-47.71									
備考	総合計画85ページ 予算書133ページ														

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	舗装箇所	箇所	目標	4.00	4.00	0.00
			実績	4.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	舗装延長	k m	目標	22.90	24.00	24.00
			実績	0.54	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	農道を整備することにより、出荷物の荷傷みが軽減され、生産性が高まるとともに、農村地域の生活環境の向上が図られる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	当事業は公共道路である農村地域の市道の舗装整備であることから、市の事業として実施する必要がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	整備する農道の状況に応じて、測量や設計業務を直営で行うか委託するかを適宜判断するとともに、農道の舗装整備に際しては、国が定めた基準に準じて実施している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	現場測量や工事設計及び積算を職員が直営で行うことによってコスト削減を図っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市道は公共施設であり誰でも通行することが可能であることから受益者の偏りはない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	昨年度までは4路線程度の舗装整備をしており、舗装道路延長は増加しているため農村環境の向上に貢献している。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	年次計画により舗装整備を実施しているが、地元からの要望件数も多く、すべてに対応することが困難であるため、未整備路線も多く残されている。また、工事費の高騰により整備延長が短くなってきている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
農道整備事業は計画的に実施しており整備済み延長は着実に伸びているが、未整備路線は数多く残っていることから地元要望に応えられるようコスト削減を目指す。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
農道整備は地元要望が多く年次計画によって実施していくが、工事費の高騰により整備延長が短くなることが予想される。コスト削減にも限界があるため財源確保も含めて検討を要する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ■拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 □現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
方向性の具体的内容 地元からの農道整備の要望が上がっているが、未整備の路線も多く残されているため、財政状況を勘案しながら計画的に事業を進めていく。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） □拡充（人・モノ・カネ等の拡充） □改善改革しながら継続 ■現状のまま継続（改善・改革なし） □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	